



凜として

長江プライド「当たり前のことを当たり前」

令和6年2月13日(火) 第5号(特別号)



「温もりのある“ことば”を使える自分でありたい」



生徒の皆さん、令和5年度のまとめの時期、令和6年度の準備期間である3学期も半分が過ぎようとしています。今年度は「情」「温もり」「相手意識」をkey wordにスタートしました。このkey wordには「全ての人に対する温かい思いやり、優しさ（人の痛みや悲しみを感ずる心）が人生を豊かにする」を生徒一人一人が理解し、学校生活を送って欲しいと願いを込めていました。誰もが気持ちよく進学・進級を迎えられそうでしょうか。そうでなければ、まだ時間があるので最後まで教職員、生徒みんなで実現を目指していきましょう。

今、1年生は「ええじゃん」の練習を頑張っていますが、楽しそうに取り組む姿はよいですね。リーダーから「長江中学校として最後の『ええじゃん』だから頑張らねば・・・」という声も出ていたと聞いています。うれしいですね。

2年生は7日(水)にゲストをお招きして総合的な学習の時間の発表を行いました。どの発表も尾道に「愛着と誇り」を持ち、よりよい街づくり(企画案:空き家再生, Fukuya跡地利用, バッティングセンター誘致, 尾道祭の活性化等)による歴史・伝統文化の継承、「猫と景色」写真展、共楽園へのベンチ設置、ねこカフェ、カフェ巡り等)に貢献したいという思いに溢れていました。ゲストからは「実現の難しいものもあるが、1つでも2つでも実現させ、長江モデルをつくって欲しい」という言葉をいただきました。3年での総合で実現に向け取り組んでもよいですね。素敵な発表会でした。

3年生は、3月7日(木)卒業証書授与式まで30日をきりました。そう思うととても寂しい気持ちになりますが、長江中学校で過ごした君たちの3年間はかけがえのない足跡であり、忘れがたいものになっています。勉強に部活動、学校行事・生徒会行事等で「一生懸命がんばることが格好よい」という精神で取り組む姿は1・2年生にとってもよいお手本になったのではないのでしょうか。素敵な卒業式を迎えられる

「日々草」

星野富弘

今日も一つ 悲しいことがあった
今日もまた一つ うれしいことがあった
笑ったり 泣いたり 望んだり あきらめたり
にくだり 愛したり
そしてこれらの一つ一つを
柔らかに包んでくれた
数えきれないほど沢山の
平凡なことがあった

花の詩画集『鈴の鳴る道』より

よう、最後まで学年男女仲良く、学年目標の「愛される人・愛される集団になる！」の達成に向け頑張ってください。3学年生徒70名。

「心に太陽を持て」(一部抜粋)
他の人のためにもことばを持て、心配と苦痛に悩んでいる人のためにも。
そして、何が君の心を楽しくするか、語ってやるが良い。
口びるに歌を持て、勇気を失うな、心に太陽を持て、
そうすれば 何ごとも良くなる！
ツェーザル・フライシュレン作 高橋 健二訳 出典『ドイツの名詩名句鑑賞』

「そうぞう」してみよう。

～ 自分のために、友だち・家族のために、社会のために ～

「子どもの読書活動の推進に関する法律」では、読書活動の意義は、「読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身につけていく上で欠くことのできないもの」と記されています。(ちなみに、「子ども読書の日」は4月23日と定められています)

本の登場人物を自分に置き換えて考え、自分なりに具体的にイメージして理解しようとしてみてください。自分自身との対話(自己内対話)ともなりまして、家族で話題にすればさらにイメージは膨らみます。登場人物を「友」とすれば頭の中ではあるけれども、世界は自分次第でいくらかでも拡がることでしょう。そうすることで自然と感性やそうぞう(想像、創造)力を高めることにもつながります。

★『5分の使い方人生は変わる』小山竜典(角川フォレスト) 2013年 から

「小説をできるだけたくさん読んで疑似体験を重ねよう」

・人は誰もが自分だけの人生を歩みながら経験を積み重ねています。それはたった一度の人生であり、どうしても一辺倒になりがちです。ところが小説を読んでその世界に没入することで、主人公の考え方に触れながら主人公が直面する出来事が追体験できるので、多くのことが学べます。このように小説をたくさん読んでいくと経験則が増えていき、結果として頭の中にあるキャビネットの引き出しにアイデアが溜まっていきます。主人公になりきりながら物事を客観的に見ることであれば、自分を客観視する訓練になります。

→できるだけストーリー豊かなものに触れて様々な疑似体験をし、鮮明にイメージできる力と俯瞰する力を養いましょう。

先日、3年生の生徒から紹介され、お借りした本で印象に残った言葉を紹介したいと思います。

★『給食のおにいさん』遠藤 彩見(双葉社文庫) 2013年 から

○「物事はね、消去法で仕方なく決めると、つらいときに気持ちが続かない。人から言われて決めると、失敗したときに相手を恨んでしまう。だからすべては自分の意志で決めないとだめだよ」
○主人公の祖母の話「人類最初の料理はグリル、火で焼くことだ。それまで人類は何でも生で食べていたけれど、もっと美味しく食べたいと思い、火で焼くことを始めた。今あるものに、さらに手を掛けて美味しくする。美味しく味わおうという意志。それが料理なのだと。～人生においても、シェフでいたいとね。生でかじってダメだったら、知恵を絞って料理するんだよ。」

※私自身、これまでの人生はどうだったんだろうかと考えさせられました。よい本でした。

「いつも心に太陽を」 出典『ドイツの名詩名句鑑賞』

【ドイツ語原文】

Hab' Sonne im Herzen,
ob's stürmt oder schneit,
ob der Himmel voll Wolken,
die Erde voller Streit!
Hab' Sonne im Herzen,
dann komme, was mag!
Das leuchtet voll Licht dir
den dunkelsten Tag!

Hab' ein Lied auf den Lippen
mit fröhlichem Klang,
und macht auch des Alltags
Gedränge dich bang!
Hab' ein Lied auf den Lippen,
dann komme, was mag!
das hilft dir verwinden
den einsamsten Tag!

Hab' ein Wort auch für andre
in Sorg' und in Pein
und sag', was dich selber
so frohgemut lässt sein:
Hab' ein Lied auf den Lippen,
verlier nie den Mut,
hab' Sonne im Herzen,
und alles wird gut!

Cäsar Flaischlen (1864-1920)

【高橋 健二訳】

心に太陽を持て、
あらしが吹こうが、雪がふろうが、
空は雲に閉ざされ、
地上は争いに満たされようが！
心に太陽を持て、
そうすれば、なんでも来るがよい！
どんなに暗い日でも、
あふれる光で明るく照らされる！

口びるに歌を持て、
楽しい響きの歌を持て、
君を不安にしようと！
口びるに歌を持て！
そうすれば、なんでも来るがよい！
それで君は、どんなに寂しい日でも
切り抜けることができる！

他の人のためにもことばを持て、
心配と苦痛に悩んでいる人のためにも。
そして、何が君の心を楽しくするか、
語ってやるが良い。
口びるに歌を持て、
勇気を失うな、
心に太陽を持て、
そうすれば 何ごとも良くなる！

ツェーザル・フライシュレン作

※ドイツ語の原文に近い日本語訳

注) 1989 年に、児童文学者の山本有三さんが紹介した詩。

【戦後の改訂版】の「・・・苦しんでいる人、なやんでいる人には、こう、はげましてやろう。『勇気を失うな。くちびるに歌を持て。心に太陽を持て。』が有名。【出典】山本有三編著『心に太陽を持て』（新潮文庫）

【山本有三訳（初版）】

心に太陽を持て
嵐が吹かうが、雪が降らうが、
天には雲
地には争ひが絶えなからうが
心に太陽を持て
さうすりゃ何が来ようと平気じゃないか
どんな暗い日だって
それが明るくしてくれる

唇に歌を持て
ほがらかな調子で
日々の苦勞に よし心配が絶えなくても
唇に歌を持て
さうすりゃ何が来ようと平気じゃないか
どんな寂しい日だって
それが元気にしてくれる

他人のためにも言葉を持て
なやみ、苦しんでいる他人のためにも
さうして何でこんなに朗らかで
いられるのか
それをかう話してやるのだ
唇に歌を持て
勇気を失ふな
心に太陽を持て
さうすりゃ何だって ふっ飛んでしまふ

ツェーザル・フライシュレン作

【Brian Cole 英語訳】

Have sunshine in your heart
even if it snows or storms,
if the Heavens are full of clouds
and the Earth is full of wars ...
Have sunshine in your heart
then let come what may:
you shall be full of light
even on the darkest day.

Have a song on your lips
with a happy little tune,
even if the pressures
of the day make you swoon ...
Have a song on your lips
then let come what may:
it helps you to overcome
the loneliest day!

Have a word for your fellows
who suffer in agony
and tell them what helps you
to be happy and carefree.
Have a song on your lips
and never give up the fight,
have sunshine in your heart
and everything's alright!

Cäsar Flaischlen